



KSR110用 オイルクーラースターキット 取扱説明書

商品番号 : 07 07 0019 (オイルクーラースターキット)

: 00 07 0078 (カラーセット)

適応車種 : KAWASAKI KSR110

フレーム番号 : KL110A 000001~

スーパーヘッド4VALVE+R(FCR28ダウンドラフト専用キット)装着車

- ・この度は、弊社商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

KSR110にスーパーヘッド4VALVE+R(FCR28ダウンドラフト)を装着した車両専用のオイルクーラースターキットです。

既にKSR110用オイルクーラースターセットをお持ちの場合はカラーセットを取り付けて下さい。

KSR110に、スーパークール/コンパクトクールを取り付ける事の出来るキットです。

弊社製キャブレターキットを取り付けた際に、左シュラウドスターの役目しか果たしていない純正エアクリーナーボックスを取り外し、空いたスペースにオイルクーラーを取り付け出来ます。

また、オイルクーラースターから左シュラウドを固定するスターも備えていますので、純正エアクリーナーボックスを取り外しても、シュラウドがバタつくような事はありません。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

弊社オイルクーラー及び取り出しが別途必要になります。



注意

この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)



警告

この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

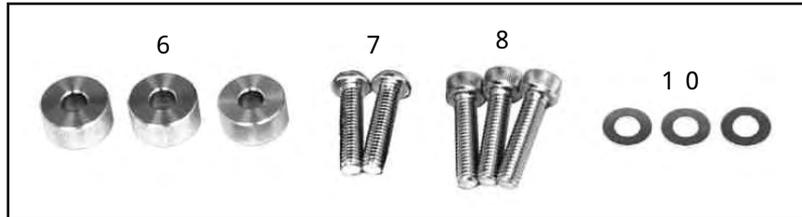
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



00 07 0078 カラーセット



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	オイルクーラーステー 1	1	15660-KL1-T10	1
2	オイルクーラーステー 2	1	15661-KL1-T00	1
3	クッションラバー	2	00 00 0099	4
4	クッションカラー	2	00 00 0217	4
5	アルミカラー 6.3×22×6	2	18371-GEY-T00	1
6	アルミカラー 6.3×18×9	3	15671 165 T00	1
7	ボタンヘッドスクリュー 6×25	2	00 00 0126	5
8	ソケットキャップスクリュー 6×25	3	00 00 0089	10
9	ソケットキャップスクリュー 6×12	1	00 00 0116	6
10	M6 ワッシャ	4	00 00 0086	10
11	M6 フランジナット	2	00 00 0173	6

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～取 り 付 け 要 領～

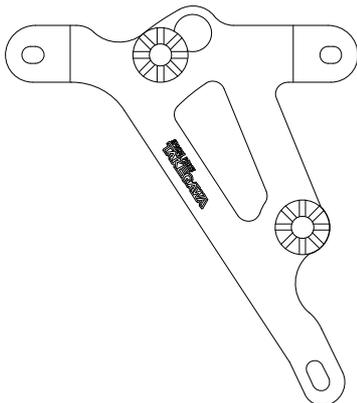
作業を始める前に

1. キット内容をご確認下さい。
2. 車両をメンテナンススタンド等で、しっかりと水平に安定させて下さい。

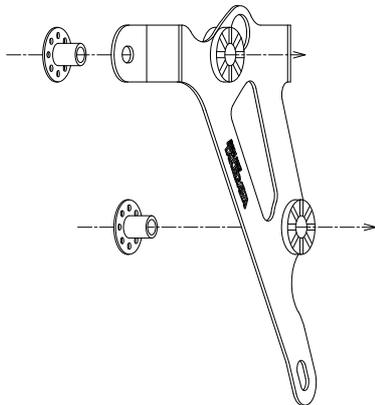
オイルクーラーの組立て

L シュラウドの取り付けのみで使用される場合は、下記の作業は不要です。

1. オイルクーラーステー1に、クッションラバーを取り付けます。
上側の取付け穴は、TAKEGAWA ロゴに近い方に取り付けて下さい。



2. クッションカラーを、オイルクーラーステー裏面より差し込みます。



3. オイルクーラーステーの裏面より、ボタンヘッドスクリュー 6 x 2.5 を通し、アルミカラーを挟んでから、オイルクーラーCOMP. を取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.9 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



オイルクーラーステーの取り付け

1. 車両の左シュラウドを取り外し、純正エアクリナーボックスを取り外します。
2. ソケットキャップスクリュー 6 x 1.2 2本に M6 ワッシャを通し、オイルクーラーステー1に通してから アルミカラーを挟み、車両に取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.9 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

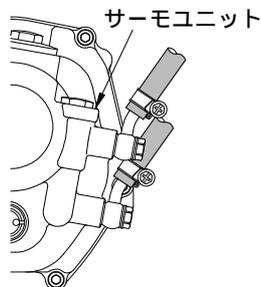
オイルクーラーの取り付け

～ダイカストクラッチカバーに オイルホースを接続する場合～

1. クラッチカバーのオイル取り出し部のブラインドプラグを取り外し、バンジョーボルトM10に、シーリングワッシャ10mm、バンジョー(30°)、シーリングワッシャ10mm、の順で通し、仮付けします。



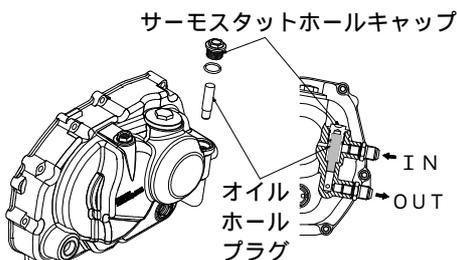
2. (サーモユニットを取り付ける場合)
ホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。
サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。



(サーモユニットを取り付けない場合)

- ・サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
- ・サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 13 \text{ N} \cdot \text{m} (1.3 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



3. オイルホースを適当な長さに切断し、ホースクランプを通してから、オイルクーラーのユニオン、クラッチカバーのバンジョーに差し込みます。
4. オイルホースがシリンダーや車体と干渉しないように、オイルユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整して固定します。
どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意して頂き、干渉部分を保護して下さい。
5. バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルトM12
: 24.5 N・m (2.5 kgf・m)

バンジョーボルトM10
: 13 ~ 15 N・m (1.3 kgf・m)

△注意：バンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

6. インシュロックタイで、ホース同士を束ね、ホースの動きを規制します。
オイルホース取り回し例

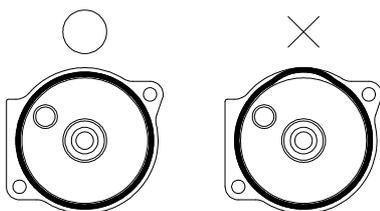


～オイルフィルターアダプターを装着し、 オイルホースを接続する場合～

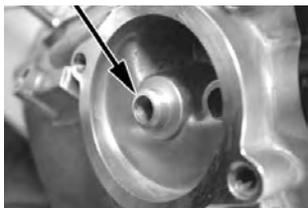
1. エンジンオイルを抜き取ります。
2. オイルフィルターキャップボルトを取り外し、オイルフィルターキャップを取り外します。
3. クランクケースとオイルフィルターキャップの間にオイルフィルターアダプターを取り付けます。
・オイルフィルターアダプターに二種類のOリングを取り付けます。



○リング60mmを取り付ける際、溝の外側に○リングがはみ出さないように注意して下さい。



・クランクケースのオイル通路(写真)にオイルを薄く塗布し、オイルフィルターアダプターを取り付けます。



・STDのオイルフィルターエレメントをオイルフィルターアダプターに取り付けます。

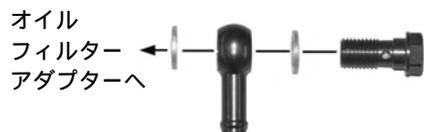


・オイルフィルターキャップをソケットキャップスクリュー6×4.0を使用して取り付けます。オイルフィルターキャップに取り付ける○リング、スプリングはSTDを再使用します。

○リングの取り付けは、溝の外側に○リングがはみ出さないように注意して下さい。



4. バンジョーボルトにシーリングワッシャー10mm、バンジョー、シーリングワッシャー10mmの順で通し、オイルフィルターアダプターに取り付けて仮締めします。



5. オイルホースを適当な長さに切断し、ホースバンドを通してから、オイルクーラーのユニオン、オイルフィルターアダプターのバンジョーに差し込みます。

6. オイルホースがシリンダーや車体と干渉しないように、オイルクーラーユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整して固定します。

どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意して頂き、干渉部分を保護して下さい。

7. ユニオンボルト、バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ユニオンボルト

: 24.5 N・m (2.5 kgf・m)

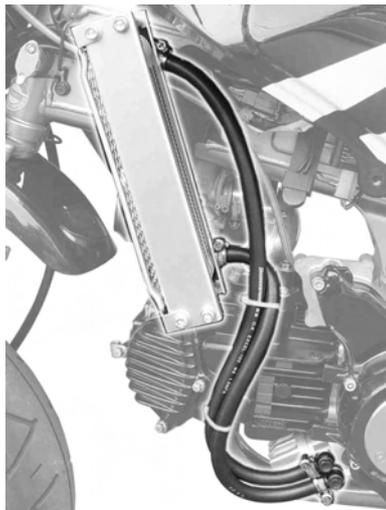
バンジョーボルト M10

: 13~15 N・m (1.3 kgf・m)

△注意：ユニオンボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

8. インシュロックタイで、ホース同士を束ね、ホースの動きを規制します。

オイルホース取り回し例



~シリンダーヘッドとクランクケースの間にオイルホースを接続する場合~

1. オイルホースを適当な長さに切断し、両端にホースクランプを通してから、オイルクーラーのユニオンと、クランクケース及びシリンダーヘッドに取り付けたバンジョーに差し込みます。

2. オイルホースがシリンダーや車体と干渉しないように、オイルユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整して固定します。

オイルホース取り回し例



前方 右



前方 左

3. ユニオンボルトと、バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ユニオンボルト(オイルクーラー側)

: 24.5 N・m (2.5 kgf・m)

バンジョーボルト(エンジン側)

: 12 N・m (1.2 kgf・m)

△注意：オイルクーラー側のバンジョーボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

4. インシュロックタイで、ホース同士を束ね、車体やエンジン等に干渉する事が無い様にホースの動きを規制します。

どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意頂き、干渉部分を保護して下さい。

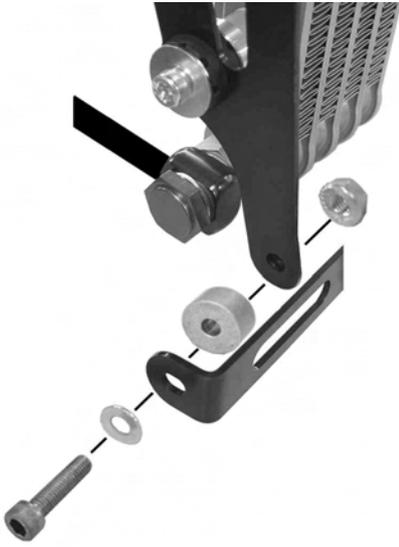
又、ノーマルマフラー等のアップタイプマフラーと合わせて装着する場合は、オイルホースがエキゾーストパイプと接近しやすい為、走行時に干渉しないように十分注意してホースを固定して下さい。

L シュラウドの取り付け

1. ソケットキャップスクリュー6×12に、M6ワッシャを通し、オイルクーラーステー2、純正シュラウドブラケットの順に通し、M6フランジナットで仮止めします。



2. ソケットキャップスクリュー 6 × 2.5 に、
M 6 ワッシャを通し、 オイルクーラ-
ステー 2 に通してから、 オイルクーラ-
ステー 1 の間に アルミカラーを挟んで、
M 6 フランジナットで仮止めします。



3. L シュラウドの、燃料タンク側のスクリュー
を仮止めてから、先程仮止めたシュラ
ウドブラケットの位置を調整し、L シュラ
ウドをスクリューで固定します。
4. オイルクーラ-ステー 2 及び、シュラウド
ブラケットのソケットキャップスクリュー
を固定します。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.9 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

最終確認

1. ステアリングを左右一杯に切り、取り付けた
オイルクーラ-が、フロントフォーク等や
車体と干渉しないか確認します。

弊社製オイルクーラ-及びリペアパーツ

~ オイルクーラ- ~

コンパクトクーラAW	4フィン5ライン	00	07	0055
	3フィン4ライン	00	07	0008
スーパークーラA	4フィン5ライン	00	07	0045
	3フィン4ライン	00	07	0004

コンパクトクーラAW



スーパークーラA



~ リペアパーツ ~

シリンダーヘッドとクランクケース間用
フィッティングセット
00 071 064



オイルフィルターアダプター用
フィッティングセット
00 07 0012



ダイカストクラッチカバー用
フィッティングセット
00 07 0035



オイルクーラ-用
パンジョーセット
00 07 0047



オイルフィルターアダプター
00 071 065



ラバーホースセット
00 07 0011



オイルホールプラグ
00 02 0111



株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**
 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721 25 1357
 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>